

令和2年度（2020年度）学校経営方針

1 学校経営の基本理念

豊かな心をもち、自ら学び、自ら考え、社会の変化に主体的に対応できる幼児児童生徒の育成をめざす。そのために、子どもたちが主体的に学び、楽しいと感じられるような学校にする。

2 学校教育目標がめざす子ども像

教育目標は、学校で行われる教育活動の究極のねらいを簡潔に示すもので、学校教育のスタートでありゴールでもある。また、全教育活動の中で継続的に活かされ、さらに具現化されるものです。

3 学校経営の基本方針

- (1) 本校の教育目標を具現化するために、職員個々の特性を生かした協力指導体制により、円滑な学校経営に努め、幼児児童生徒及び保護者の信頼に応える学校経営に努める。
- (2) 家庭との連携・情報共有を丁寧に行う。
- (3) 関係機関との連携を通して本校の教育を充実させる。
- (4) 幼児児童生徒の発達段階に応じて、言語力・思考力・判断力・表現力の育成を図る指導方法の工夫や授業改善に努める。
- (5) 小規模校の特徴を生かし、一人一人に応じた指導を充実させる。つきたい力を明確にし、そのためのねらいや振り返りを大事にした取り組みをしていく。

4 目指す教職員

(1) 子ども理解

子どもの心に寄り添い、共感・共有する。私たちが困ったと感じたことを子どもの立場になって考える。「困った子」から「困っている子」へ視点を展開することは、子どもを理解するために大切なこと。

(2) 自らも学ぶ

子どもを理解するために自らも学び続ける。教育環境を整える。

(3) 協働する

今年度の重点目標を達成するために、学部、グループなど校内組織のチームとして取り組む。役割分担をしたり、それぞれができることや得意なことをしたりして目標に向かって全員が協力する。